

目次

2016ハイライト！	1
長岡京市第二期環境基本計画について	3
1. エネルギーを大切にすまちづくり	4
2. 資源循環型社会の形成	13
3. 自然環境の保全	18
4. 快適な都市環境づくり	23
5. 協働・環境学習・エコアクションの推進	29
●長岡京市第二期環境基本計画進捗状況について	34
●長岡京市生活環境審議会の評価・意見および市の考え方	35

2016ハイライト!

第8回環境フェアの開催

平成28年11月19日(土)長岡京市立中央公民館・市民ひろばで8回目となる環境フェアを開催しました。今回は“みんなで創る環境(みどり)の祭典”～ひとりひとりができることを考えよう～”をテーマに34の事業所や環境ボランティア団体などに出展していただきました。過去最高の出展者数となり、幅広い活動を知ってもらえる場となりました。出展の内容は日頃の活動に関する展示や体験ブースなどさまざまな工夫を凝らしていただきました。今年度は約800名の来場があり、各ブースが多く参加者でにぎわい、活気に満ち溢れたイベントとなりました。また参加者アンケートでは、「毎年参加して、一つずつ実践しています。」や「勉強になりました!楽しみながら学べて良かったです。」など嬉しい声をいただいています。

また市民ホールでは“環境の都”賞・グリーンカーテンコンテスト・環境への想いを絵にしよう最優秀賞の表彰式のほか、「子ども環境フェスティバル」が開催され、2小学校による団体発表と2人の児童による個人発表がありました。日頃から学校で取り組んでいる内容や研究の成果について発表を行いました。

来年度以降も市内事業所や環境ボランティア団体みなさんと一緒に、子どもから大人まで環境について楽しく学べ、一人でも多くの方に実践していただけるよう“環境の都”長岡京の輪を広げていく場にしていきます。



平成28年度“環境の都”賞受賞者



西山森林整備推進協議会

平成17年6月に長岡京市の西域約800haを占める森林（西山）が、社会情勢や生活様式の変化により荒廃が進んでいることに問題意識を持ち、森林所有者・地域住民・企業・NPO・大学・行政等の多様な主体が集まり設立されました。「つなげたい みどりの西山 未来の子らへ」を合言葉に多様な主体が協働しながら森林保全活動に取り組んでおられます。これまでの継続的な活動により、平成27年度末までの森林整備面積は273.80ha、整備により認定されたCO2吸収量は1,408トンとなり、低炭素社会の構築にも大きく貢献されています。また、地域住民の森林への関心を高めるため、100名規模の森林ボランティア活動や森林ボランティア養成講座、体験型環境教育事業を実施し参画者を増やしておられ、地域の環境づくりを担う団体として大変活躍されています。



NPO法人竹の学校

放置竹林の激増が問題化した平成12年「まちこん（まちづくり市民懇談会）竹林部会」に参画され、まちこんの解散を機に、平成15年に「長岡京市竹林友の会」を結成、平成20年には特定非営利法人として認定され、現在の「NPO法人竹の学校」に改組されました。同団体では「①放置竹林の繁殖が引き起こす植物生態系の乱れを防ぎ、水資源の涵養を図ること」「②衰弱しつつあるタケノコ技術を保存すること」「③竹の文化を創り出すこと」という3つの目的をもって環境活動を継続されています。また、長岡京市環境フェアや長岡京竹あそびなどの環境イベントへも参画され、環境に関する取り組みを広く市民に伝えることにも積極的に努められています。

なお、他の竹林整備団体との横のつながりも大事にされながら活動を継続されているところであり、今後の活動にも大いに期待するものです。

KES環境マネジメントシステム・スタンダードステップ2を取得

市では平成13年度にISO14001を取得し環境に配慮した取組みを進める中で、環境負荷軽減の意識が職員に根付き、大きく前進してきました。平成28年度からは費用面で安価であり事務を軽減しながら実効性が高められることから、京都発祥のKES（京都・環境マネジメントシステムスタンダード）という規格に移行し、環境マネジメントに取り組むことにしました。平成29年2月1日付けでKES環境マネジメントシステム・スタンダード（ステップ2）の認証を取得しました。また中小企業等に向けて運用面で省エネを進めてもらうため、「環境マネジメントシステム」をPRしています。